

相川町商工会景況調査報告書

組織番号 95

商工会名 相川町商工会

1. 調査要領

(1) 調査対象

ア 対象地区 相川町商工会地区内小規模事業者
イ 調査企業数 30 事業所 (うち小規模事業者数 30 事業所)
ウ 回答企業数 30 事業所 (うち小規模事業者数 30 事業所)
(回答率 100.0%)

(2) 調査対象期間

平成29年7月～平成29年12月
(調査時点 平成29年12月1日)

(3) 調査方法

経営指導員等による巡回または窓口によるヒアリング調査

(4) 調査対象と回答企業の構成

| | 調査対象 | | 有効回答 | |
|-------|------|--------|------|--------|
| | 企業数 | 構成比 | 企業数 | 構成比 |
| 製造業 | 3 | 10.0% | 3 | 10.0% |
| 建設業 | 7 | 23.3% | 7 | 23.3% |
| 卸・小売業 | 8 | 26.7% | 8 | 26.7% |
| サービス業 | 12 | 40.0% | 12 | 40.0% |
| 合計 | 30 | 100.0% | 30 | 100.0% |

2. 地域内産業全体の景況概要

地区内の会員企業の景況は低迷傾向を示しており、厳しい経営状況にある。全体的に前年同月（H28.7月～12月）に比べ前期（H29.1月～6月）は若干上向き傾向にあるが、今後の見通しについては依然として厳しい予測が多くなっている。

【後継者の状況】

調査事業所において「後継者あり」は4割に至っていない。厳しい経営環境の中で事業継承の難しさを表している。

| | | |
|--------|-------|-------|
| 後継者 あり | 11事業所 | 36.7% |
| 後継者 なし | 19事業所 | 63.3% |

【売上高】 DI（増加企業の割合から減少企業の割合を引いたもの

全業種におけるDIは、前年同期比▲30、前期比▲3で27ポイント上昇となり、改善傾向にあるが、依然として減少企業の割合が多い。来期の見通しについても、▲16で厳しい予想となっている。

前年同期比

| 増加 | 不変 | 減少 |
|----|----|----|
| 8 | 5 | 17 |

前期比

| 増加 | 不変 | 減少 |
|----|----|----|
| 13 | 3 | 14 |

今後の見通し

| 増加 | 不変 | 減少 |
|----|----|----|
| 9 | 7 | 14 |

【採算】 DI（増加企業の割合から減少企業の割合を引いたもの

全業種におけるDIは、前年同期比▲20、前期比▲20でポイントは変わらず。経費削減等の努力等により売上高よりは改善傾向にあると言える。しかし、来期の見通しについては、▲20で依然として厳しい予想となっている。

前年同期比

| 好転 | 不変 | 悪化 |
|----|----|----|
| 5 | 14 | 11 |

前期比

| 好転 | 不変 | 悪化 |
|----|----|----|
| 6 | 12 | 12 |

今後の見通し

| 好転 | 不変 | 悪化 |
|----|----|----|
| 7 | 10 | 13 |

【仕入単価】 DI（増加企業の割合から減少企業の割合を引いたもの

全業種におけるDIは、前年同期比+34、前期比+24で10ポイントの減であるが、引き続き上昇していることが見て取れる。来期の見通しにおいても+27ポイントで依然として仕入単価の上昇が予想される結果となっている。

前年同期比

| 上昇 | 不変 | 低下 |
|----|----|----|
| 12 | 16 | 2 |

前期比

| 上昇 | 不変 | 低下 |
|----|----|----|
| 9 | 19 | 2 |

今後の見通し

| 上昇 | 不変 | 低下 |
|----|----|----|
| 10 | 18 | 2 |

【販売（客）単価】 DI（増加企業の割合から減少企業の割合を引いたもの

全業種におけるDIは、前年同期比▲3、前期比▲10で7ポイント減少であり、引き続き販売客単価は低下傾向にある。来期の見通しにおいても▲14ポイントで思うように販売価格への転嫁が難しい状況にあると言える。

前年同期比

| 上昇 | 不変 | 低下 |
|----|----|----|
| 6 | 17 | 7 |

前期比

| 上昇 | 不変 | 低下 |
|----|----|----|
| 4 | 19 | 7 |

今後の見通し

| 上昇 | 不変 | 低下 |
|----|----|----|
| 2 | 22 | 6 |

【資金繰り】 DI（増加企業の割合から減少企業の割合を引いたもの）

全業種におけるDIは、前年同期比▲21、前期比▲30で9ポイントの減となっており、「悪化」企業の割合が減少している。
来期の見通しにおいては▲17ポイントで、当期とあまり差はない状況である。

| 前年同期比 | | | 前期比 | | | 今後の見通し | | |
|-------|----|----|-----|----|----|--------|----|----|
| 好転 | 不変 | 悪化 | 好転 | 不変 | 悪化 | 好転 | 不変 | 悪化 |
| 3 | 18 | 9 | 0 | 21 | 9 | 4 | 17 | 9 |

【雇用動向】 DI（増加企業の割合から減少企業の割合を引いたもの）

地区内の雇用動向をコメントする

全業種におけるDIは、前年同期比▲7、前期比+-0、見通し+7であり、雇用に関しては、「不変」と回答した企業が殆どであり、景況は厳しい傾向にあるが、雇用については現状維持で推移している。

| 前年同期比 | | | 前期比 | | | 今後の見通し | | |
|-------|----|----|-----|----|----|--------|----|----|
| 増加 | 不変 | 減少 | 増加 | 不変 | 減少 | 増加 | 不変 | 減少 |
| 1 | 26 | 3 | 0 | 30 | 0 | 4 | 24 | 2 |

【景況判断】 DI（増加企業の割合から減少企業の割合を引いたもの）

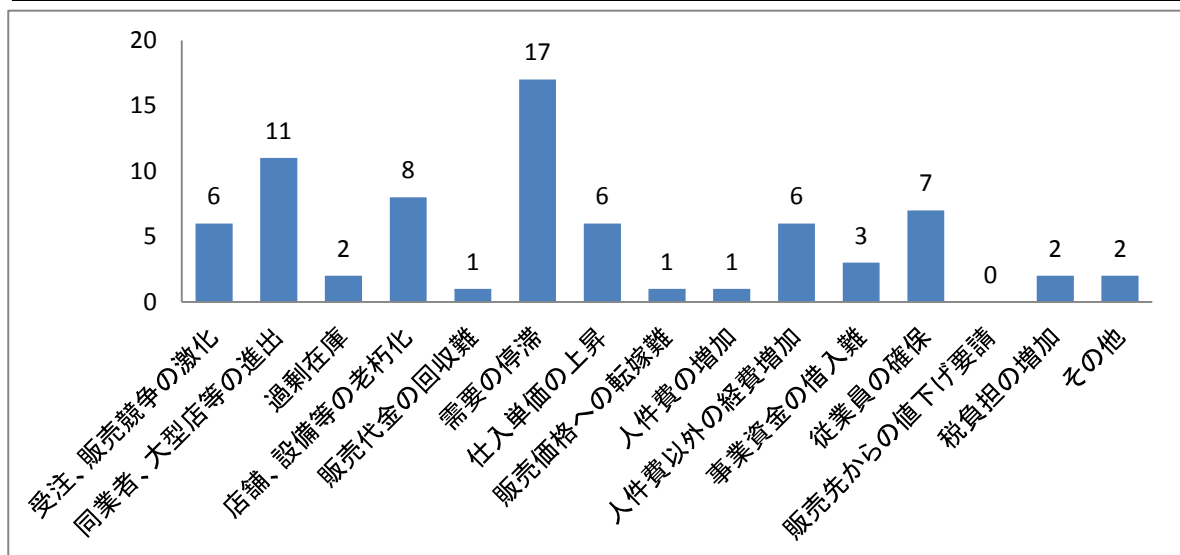
地区内の景況判断についてコメントする

全業種におけるDIは、前年同期比▲37、前期比▲30で7ポイント上昇であるが、前年同期比から引き続き景況は「悪化」と回答する企業が多い。
来期の見通しは▲23ポイントで景況判断は以前として厳しい状況にある。

| 前年同期比 | | | 前期比 | | | 今後の見通し | | |
|-------|----|----|-----|----|----|--------|----|----|
| 好転 | 不変 | 悪化 | 好転 | 不変 | 悪化 | 好転 | 不変 | 悪化 |
| 5 | 9 | 16 | 4 | 13 | 13 | 6 | 11 | 13 |

【経営上の問題点】

全業種において、人口減少、少子高齢化、官公庁等の事業の減少等の要因による「需要の停滞」、大型店の進出による「販売競争の激化」が上位である。また「店舗、設備の老朽化」による設備投資対策、従業員の確保が必要という回答も多かった。



3. 産業別景況概要

(1) 製造業

人口減少、高齢化等による全体的な消費量の減少と併せ、大型店等の進出により競争が激しくなっている中で、概ね全調査項目において業況は好転している。

◆経営上の問題点

1位：需要の停滞

2位：受注、販売競争の激化・仕入単価の上昇・店舗、設備等の老朽化
人件費以外の経費の増加（同数）

(2) 建設業

公共事業の減少や建築関係の需要減少の影響が大きく、前年同期比、前期比、今後の見通しで、全てマイナスポイントとなっており大変厳しい状況にある。

◆経営上の問題点

1位：同業者、大型店の進出・従業員の確保（同数）

3位：需要の停滞

(3) 卸・小売業

製造業と同様に人口減少、高齢化等による全体的な消費量の減少と併せ、大型店等の進出による消費者の流出や低価格商品による価格競争、ニーズの多様化など厳しい状況が続き、前年同期比、前期比、今後の見通しで、全てマイナスポイントとなっている。（マイナス幅は建設業よりも大きくなっている。）

◆経営上の問題点

1位：同業者、大型店の進出・需要の停滞（同数）

3位：受注、販売競争の激化・店舗、設備等の老朽化（同数）

(4) サービス業

全調査項目において、前年同期比、前期比ともに好転傾向の回答が多くなっている。

今後の見通しについても、観光客の入込客増加に期待する事業所が多い。

◆経営上の問題点

1位：需要の停滞

2位：店舗、設備の老朽化・仕入単価の上昇（同数）

